

## 九州大学アジア人財プログラム ー過去のトピックス（平成22年度）ー

2010年6月4日

平成22年度アジア人財資金構想 トヨタ自動車九州㈱ 企業見学会（開催結果）

平成22年6月4日（金）トヨタ自動車九州㈱本社工場（於：福岡県宮若市上有木1）「企業見学会」を開催しました。

### 1.事業概要

九州大学では、平成20年10月から我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、エネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成プログラム（AQプログラム）を展開し、受入から我が国企業への就職まで、切れ目のない一貫した支援プログラムを産学連携により推進しております。

### 2.結果

当日は、本学から留学生12名（学会参加のため1名欠席）、大学関係者4名が参加。同社で活躍している留学生OBを囲み、懇談会を開催しました。同懇談会では、留学生から「日本企業で働く意義、産業界が求める人材像」等について質問が飛びかうなど、留学生の就職に向けた意欲の高さが感じられる懇談会となりました。

その後、概要説明・シアター鑑賞を経て、組み立て工場にてライン見学を行い、さらなる知識を深める場となりました。



（概要説明）



（留学生OB及び社員の方との意見交換会）



（シアター鑑賞）



（展示室にて）

2010年7月2日

平成22年度アジア人財資金構想 (株)安川電機 企業見学会(開催結果)

平成22年7月2日(金)(株)安川電機 八幡西事業所(於:福岡県北九州市八幡西区黒崎城石2-1)「企業見学会」を開催しました。

## 1.事業概要

九州大学では、平成20年10月から我が国企業に就職意思のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、エネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成プログラム(AQプログラム)を展開し、受入から我が国企業への就職まで、切れ目のない一貫した支援プログラムを産学連携により推進。

この一環として、留学生に専門知識の付与、ビジネス現場の体感を図り我が国産業への関心を高めさせつつ具体的な就業へと導くための「企業見学会」事業を、プロジェクト連携企業である(株)安川電機様の協力の下で実施。

## 2.結果

当日は、本学から留学生11名(2名欠席:学会参加のため1名欠席、必修授業履修のため1名欠席)、大学関係者4名が参加。同社からは人事総務部人事・キャリア開発部人事グループ 主任檀氏、高代氏が対応。会社概要説明を受け、主要製品についてのビデオ視聴を行った。

また、同社で活躍している九大OBの福留氏、榊氏を囲み、懇談会を開催。同懇談会では、フランクな意見交換を通じて、留学生の日本企業への理解増進、専門教科修得・就職に向けたモチベーション向上を図った。

さらに、モートマンセンタおよびモートマンステーションにおいて製造工場のライン見学を行い、さらなる知識を習得した。



(概要説明)



(九大OB社員の方との意見交換会)



(モートマンセンタ「太鼓ロボット」前にて)



(工場見学後 質疑応答)

2010年7月16日

平成22年度アジア人財資金構想 地域中核企業と九州大学との懇談会

平成22年7月16日（金）大牟田市役所（於：福岡県大牟田市有明町2丁目3番地 北別館4階）にて「懇談会」を開催。

### 1. 事業概要

九州大学では、平成20年10月から我が国企業に就職意思のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、エネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成プログラム（AQプログラム）を展開し、受入から我が国企業への就職まで、切れ目のない一貫した支援プログラムを産学連携により推進。

この一環として、地域に根ざす産学官機関が有機的に連携し、政策資源、経営資源の有効活用を図ることで地域の総合力がさらに高まるように「懇談会」を実施した。

### 2. 結果

当日は、大学関係者8名が参加。

大牟田市役所からは経済産業部 部長等6名、（財）大牟田市地域活性化センターから専務理事等6名、企業側から4社13名が参加し、AQプログラムの紹介と産業界の求める人物像等について懇談を行った。また産業界のプレゼンテーションが行われた後は、別室にて個別技術相談を実施。各企業が抱える課題に対して大学側へ相談が寄せられた。



（九州大学 概要説明）



（懇談会風景）



（名刺交換）



（地域中核企業との意見交換会）

2010年9月16日

平成22年度 アジア人財資金構想「AQ塾」の開催結果

## 1.概要

就職支援の一環として、ものづくりに関する高度な専門性を有するアジア人財の日本企業における活躍を後押しすること目的として、8月18-20日の3日間、下関市において合宿形式の集中講座を開催した。

### ■内容

今般、AQプログラムに基づき、3期生11名(これにすでに就職内定を勝ち得た2期生が参加)を対象として、日本企業への就職支援に関する集中講座を開催。対象となる3期生(修士9名、博士2名)は、入学から5か月を経過した中国、韓国等からの留学生であり、現状では、就職戦線の厳しさや、日本企業への就職に関する知識や認識は不十分な状況。このような留学生に対して、集団討論や模擬面接などを通じて、日本企業を対象にした就職活動において求められる実践的な感覚を涵養するための講座を開設した。

### ■効果

- ・就職や研究に関する留学生自身の自覚・研鑽、動機づけ
- ・日本の企業・産業界が求める人材像への理解
- ・自らの課題や強みの気付き
- ・来るべき就職活動への円滑な対応

### ■今後の展開

本合宿を踏まえて、8月末から9月初には、インターンシップ先企業で職場体験。実際の企業現場を経験した後、後期には専門教育や日本語教育に係る講座を受講。本年度末からはじまる、実際の就職活動に円滑に結びつくことを期待。

## 2.受講対象

平成21年度国費留学生(第2期) 3名

平成22年度国費留学生(第3期) 11名

## 3.開催時期及び場所

日時：平成22年8月18日～20日(2泊3日)

場所：下関シーモールパレス

所在地：下関市竹崎町4-4-8 TEL：083-231-7000

宿泊場所：下関東急イン

所在地：下関市竹崎町4-4-1 TEL：083-233-0109

## 4.カリキュラム

[8月18日]

(1)企業見学会:三菱重工業(株)下関造船所

内容：留学生の日本企業に対する理解増進を目的として、実際の製造業の現場を体験させた。同社で活躍している九大OBの参画を得て、懇談会を開催し意見交換を行った。

## ■ 企業見学会（三菱重工業(株)下関造船所）



工場・施設見学



懇談会



工場概要説明

### (2)特別講話Ⅰ

講師：鳥丸 聡（シンクタンクバードウイング 代表）

テーマ：産業界が求めるグローバル人材

要 旨：日本のものづくりを取り巻く環境変化を踏まえ、今産業界が求めているグローバル人材について説明。サービス中心社会で求める人材、新しい価値を察知できる人材、また多様な「中間領域」に対応できる人材が求められている。

## ■ 特別講話Ⅰ（鳥丸 聡氏 シンクタンクバードウイング 代表）



### (3)就職活動ガイダンス

狙 い：Ⅰ・Ⅱ期生の就職実績状況を説明し、日本における就職活動の時期・内容について指導。また、アジア人財プロジェクトにおける推薦等の支援内容を説明。今後の活動フローを解説し、より効率的な就職活動を促進。

講師：太田教授

内 容：就職ガイダンス

### (4)インターンシップ心得

狙 い：合宿後（8/23～）始まるインターンシップに向けての心構え、留意事項を説明するとともに、Ⅰ・Ⅱ期生のインターンシップ体験事例を冊子としてまとめ配布。

講師：香川特任教授（インターンシップコーディネータ）

内 容：インターンシップの心得

[8月19日]

### (5)特別講話Ⅱ

講師：野澤 和世 インターエージェント(株)副社長

**テーマ：**留学生の日本就職事情／企業が求める留学生とは **要旨：**留学生の日本企業への就職状況を解説するとともに、留学生が日本企業に就職するにあたって知っておくべき事柄を解説。日本の就職活動の流れと準備、留学生積極採用企業の探し方紹介、求められる日本語レベルについて具体的に指導。また、企業が求める留学生について、自己分析と業界企業研究の重要性に言及しポイントを説明。

■ 特別講話Ⅱ（野澤 和世氏 インターエージェント(株)副社長）



(6) ケーススタディ（ロールプレイング）

**狙い：**「意思伝達力」、「組織行動力」、「提案解決力」を事例分析により学習。学生に発言させる場を提供することで、コミュニケーション力、日本語力、プレゼン力を強化。

**コーディネータ：**木村氏（TOTO(株)）、金澤氏（平田機工(株)）、谷内氏（三菱重工業(株) 下関造船所）

**内容：**3つのグループに分かれ、事例を分析。司会者、発表者、資料作成者の役割分担の下に、グループとしての結論を導き、発表。企業の現役人事担当者をコーディネータとして参加いただき、グループディスカッションを通じて組織における仕事のあり方などを理解させる。コーディネータは人事担当者の視点から各グループの学生に対する評価を実施。

■ ケーススタディ



ケーススタディ（グループ討議）



ケーススタディ（発表・全体討議）

## (7) II期生就活体験談発表

就職内定者3名から「就活」について体験談の説明および質疑応答。

### ■ II期生就活体験談発表



II期生（ホン ユンジョンさん）



II期生（キム ヒョジンさん）



II期生（チョウ セイヒツさん）

[8月20日]

## (8) 個人模擬面接

**狙い：**研修前に「エントリーシート」を記入。面接における受け答えの準備とする。研修の集大成の場として、面接官と向き合い、「自分の言葉で自分の考えをしっかりと伝える」。より一層深く掘り下げた「自己研究」に基づき、志望動機・価値観・職業観などを考え、伝えられるか。「美辞麗句」より、「自分らしさ（なぜ？）（具体的）」を考える視点を養い、わかりやすく他者に伝える機会としたい。

**面接官：**木村氏(TOTO(株))、金澤氏(平田機工(株))、谷内氏(三菱重工業(株)下関造船所)

**内容：**企業の現役人事担当者が面接官となり、3対1の模擬面接を行った。

1人約10分、各面接官が人事担当者の視点から掘り下げた質問に対応。

面接官により一人ずつ評価を行った。

### ■ 個人模擬面接



個人模擬面接



【コーディネータ 3名による総評】



日本語教師による傾聴・評価



木村氏 (TOTO(株))



金澤氏 ((株)平田機工)



谷内氏 (三菱重工業(株)下関造船所)

## ■終了式



AQ塾総評



修了式

## (9)企業見学会：新日本製鐵 (株)八幡製鉄所

内 容：留学生の日本企業への理解増進を図りつつ、製造業の現場を体験させ就業促進へと導く。

## ■企業見学会 (新日本製鐵 (株)八幡製鉄所)



工場・施設見学

2010年1月19日

平成22年度アジア人財資金構想 TOTO(株) 企業見学会(開催結果)

平成22年1月19日(金) TOTO(株)第一工場(福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1)および第二工場(福岡県北九州市小倉南区朽網東5-1-1)にて「企業見学会」を開催。

### 1.事業概要

九州大学では、平成20年10月から我が国企業に就職意思のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、エネルギー・環境を意識したもののづくりができる人材育成プログラム(AQプログラム)を展開し、受入から我が国企業への就職まで、切れ目のない一貫した支援プログラムを産学連携により推進。

この一環として、留学生に専門知識の付与、ビジネス現場の体感を図り我が国産業への関心を高めさせつつ具体的な就業へと導くための「企業見学会」事業を、TOTO(株)様の協力の下で実施。

### 2.結果

当日は、本学から留学生14名(2名欠席:学会参加のため1名欠席、一時帰国のため1名欠席)、大学関係者3名が参加。

同社からは人財開発本部 人財開発センター 人財開発第二グループ 木村氏に同行頂いた。会社概要説明を受け、第二工場にて水栓金具工場を見学し、鑄造から機械加工、研磨、メッキ、出荷までの流れと技術的な事項について理解を深めた。続いて第一工場において衛生陶器工場を見学し、製品の成形、施釉、焼成の技術についてさらなる知識を習得した。

また、同社で活躍している開発第一グループ 松尾氏、水栓生産技術課 武富氏、カスタムBUグループ 鶴田氏、機器製造第一課 吉武氏、水栓購買企画グループ 張氏の九大OBを含む計5名が加わり、懇談会を開催。同懇談会では、フランクな意見交換を通じて、留学生の日本企業への理解増進が図られた。



(概要説明)



(概要説明の様子)



(懇談会)



(ギャラリー見学の様子)

2010年12月3日

留学生のための就職支援セミナー（開催結果） ～ 質の高い就職情報の提供によるマッチング支援 ～

平成22年12月3日（金）、ホテル日航福岡（於：福岡市）において、「留学生のための就職支援セミナー」を開催しました。

九州大学では、平成20年10月から、我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、工学府に設置した専門プログラムの中で実践的なカリキュラムを開発し、専攻分野のみならずエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成を図り、企業の即戦力となる人材を輩出し、我が国産業界への100%就職を目指すプログラムを展開中。

この一環として、留学生に対して産業界の情報（企業、就職、求める人材像等）を提供する場として、「就職支援セミナー」を開催しました。当日は、留学生、産業界、大学関係者等63名が出席しました。

セミナーではプログラム参加留学生16名から自己紹介をした後、企業毎にブースを設けて、ポスターセッション・相談会を行いました。



（留学生自己紹介）



（ポスターセッション）



（相談会会場の様子）

